

事業番号	69	事業の名称	高齢者福祉事業	担当部署	部 福祉部	課 長寿課								
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(2)地域支援体制の充実	フラッグ フラッグ項目								
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の自立支援事業…給食の宅配による栄養管理、安否確認を行う。</li> <li>家具転倒防止事業…タンス、書棚等家具ひとつにつき器具2個を1組として設置する。</li> <li>寝具洗濯乾燥事業…布団や毛布の洗濯乾燥し、直接利用者宅へ集配する。</li> <li>ホームヘルパー派遣事業…調理、衣類の洗濯、住居等の掃除及び整理整頓、生活必需品の買物等を行う。</li> </ul>			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の自立支援…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町など同種事業実施</li> <li>家具転倒防止事業…近隣で同種事業を行っている市町村なし</li> <li>寝具洗濯乾燥…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町など同種事業実施</li> <li>ホームヘルパー派遣事業…瀬戸市、尾張旭市、日進市、東郷町など同種事業実施</li> </ul>									
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)									
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の65歳以上の市民等			総事業費	H25予算	22,274	H25決算	20,189	H26予算	24,635	H26決算	27,856	H27予算	30,427
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的支援や日常的支援により、住み慣れた地域の中で安心して生活してもらうため。				うち	一般財源	22,274	20,189	24,635	27,856	30,427			
					国費・県費	0	0	0	0	0				
					地方債	0	0	0	0	0				
					その他	0	0	0	0	0				
受益者負担額	5,652	5,282	5,961	7,352	9,212									

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~				H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		H26目標値							H26目標値		H26目標値		H26目標値		H26目標値		事業規模 事業費		
① 食の自立支援事業	・65歳以上の一人暮らしの者 ・75歳以上の者のみの世帯	年間を通して、宅配給食を必要な方に配達することで				調理等日常生活に支障のある一人暮らしの高齢者等の健康の保持、食生活の改善、日常生活の助長を図るとともに、安否の確認を行う	H26.10月から土日祝の配食スタート。利用者数は1年間で33人増加。年間の配食数は9,799食増加。	利用者数	114 147 120	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	11,205 12,261 18,465	9,826 16,694	1食670円×24,915食=16,693,050円	B 向上 維持	業者の選択ができるように準備していく。			
② 家具転倒防止事業	・65歳以上の一人暮らしの者 ・75歳以上の者のみの世帯 ・身体障害者手帳2級以上の者 ・療育手帳B判定以上の者 ・精神障害者保健福祉手帳2級以上の者 ・要介護認定で要介護3以上の者	地震時の高齢者等宅において、家具等の転倒等による人的被害の発生を防止するため、市が家具等の転倒防止器具を取付けることで				高齢者等が安心して生活できる環境を整備する	2組取付:2名、4組取付:1名、取付不可:2名	利用者数	6 5 45	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	271 140 146	47 26	6,103円×2件+11,243円×1件+963円×2件=25,375円	B 向上 維持	取付器具数の上限を撤廃し、利用者数の増加を図る。			
③ 寝具洗濯乾燥事業	・介護保険法第27条における要介護認定で要介護3以上の者又は認知症高齢者一人暮らし高齢者 ・重度身体障害者 ・後期高齢者世帯の世帯員	身体的な虚弱等の理由により、寝具を洗濯することが困難である人に対し、寝具洗濯乾燥サービスを行うことで				高齢者及びひとり暮らし高齢者等が快適な生活を送れる	利用人数 55人	利用者数	47 55 50	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業による目標値	500 671 551	649 517	寝具選択乾燥 517千円	B 向上 維持	市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数のさらなる向上を図る。			
④ ホームヘルパー派遣事業	・介護保険法第14条に規定する介護認定審査会において非該当と認定された者で、家族のみでは家族等を行うことが困難な者 ・緊急に家事援助が必要な者で介護保険を申請中の者	家事等が困難で日常生活を営むのに支障がある者に対して、ホームヘルパーを派遣することで				高齢者等が住み慣れた地域の中で安心して生活を営むことができる	延人数 29人	利用者数	3 4 11	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業による目標値	726 520 260	234 189	ホームヘルパー派遣 189千円	B 向上 維持	市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数のさらなる向上を図る。			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 食の自立支援事業	業者の選択ができるように準備していく。		
② 家具転倒防止事業	取付器具数の上限を撤廃し、利用者数の増加を図る。			
③ 寝具洗濯乾燥事業	市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数のさらなる向上を図る。			
④ ホームヘルパー派遣事業	市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数のさらなる向上を図る。			

事業番号	69	事業の名称	高齢者福祉事業	担当部署	部 福祉部	課 長寿課												
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(2)地域支援体制の充実	フラッグ F2「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～												
フラッグ項目	(43)徘徊高齢者家族の支援																	
事業の概要	・デイサービス事業…自宅からデイサービスセンターまで送迎し、日常動作訓練や趣味活動の提供を受け、身体的な機能の低下を防ぎ、生きがいのある生活を図る。 ・緊急通報システム事業…緊急時にボタンを押すだけで、通報センターから消防本部等に通報され、救助等を行う。 ・徘徊高齢者等家族支援事業…専用端末機を貸出し、徘徊時にその位置を検索し、早期発見及び保護を行う。 ・防犯対策事業…玄関前等にセンサーライトを取り付ける。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)		・デイサービス事業…瀬戸市尾張旭市、日進市、豊明市など同種事業実施 ・緊急通報システム事業…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町で同種事業実施 ・徘徊高齢者家族支援事業…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町など同種事業実施 ・防犯対策事業…近隣で同種事業を行っている市町村なし												
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費													
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の65歳以上の市民等			総事業費		総事業費 (単位:千円)												
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的支援や日常的支援により、住み慣れた地域の中で安心して生活してもらうため。			H25予算 22,274 H25決算 20,189 H26予算 24,635 H26決算 27,856 H27予算 30,427		一般財源 22,274 国費・県費 0 地方債 0 その他 0 受益者負担額 5,652												
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>							評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																		
A	現行どおり実施																	
B	事業の改善																	
C	他事業と統合																	
D	運営主体の見直し																	
E	事業の廃止の検討																	

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		4月~	7月~	10月~	1月~				H25実績	H26実績	単位	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		H26目標値							H26目標値			H27予算					事業規模 事業費	
⑤	デイサービス事業	家に閉じこもりがちなどひとり暮らしの高齢者等が、日常動作訓練活動等の提供を受け、身体的な機能の低下を防ぐことで				生きがいのある生活と社会参加を促進し、高齢者福祉の増進を図る	利用者数 3人	延利用者数	3	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業による目標値	875	977	1,000	1,024	延利用回数 74回分 1,024千円	B	閉じこもり予防の必要な高齢者の把握に努め、利用者増を目指す。
⑥	緊急通報システム事業	在宅のひとり暮らし高齢者等の急病、事故等の緊急事態に対処するため緊急通報システムを実施設置することで				日常生活上の不安を軽減し、円滑な救助及び援助を行い、もって福祉の増進を図る	利用者数 142人	利用者数	147	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業による目標値	7,954	8,256	9,592	9,053	緊急通報システム業務委託料 7,267千円 緊急通報システム保守委託料 1,409千円	A	センサー付き機器を導入し、さらなる利用者数の増加を図る。
⑦	徘徊高齢者等家族支援事業	専用端末機を貸出し、徘徊時にその位置を検索し、早期発見及び保護を図ることで				徘徊癖の見られる認知症の高齢者や知的障害者等を介護する家族及び保護者が安心して介護できる環境を整備する	利用人数 2人	利用者数	2	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業による目標値	314	32	150	103	徘徊高齢者家族支援事業委託 103千円	B	利用者が少ないため、市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。
⑧	防犯対策事業	玄関前等にセンサーライトを取り付けることで				高齢者宅への侵入盗などによる犯罪被害を防止するため、高齢者の申請に基づき、市が防犯器具を取り付けることにより、高齢者が安心して生活できるまちづくりを推進する	利用者数 11人	利用者数	11	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業による目標値	328	149	200	185	高齢者防犯対策委託 185千円	B	利用者が少ないため、市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	⑤	デイサービス事業		
⑥	緊急通報システム事業	センサー付き機器を導入し、さらなる利用者数の増加を図る。		
⑦	徘徊高齢者等家族支援事業	利用者が少ないため、市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。		
⑧	防犯対策事業	利用者が少ないため、市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。		

事業番号	69	事業の名称	高齢者福祉事業		担当部署	部 福祉部	課 長寿課					
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(2)地域支援体制の充実	フラッグ	F2「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	フラッグ項目	(35)ワンコインサービスの実施			
事業の概要	高齢者に対し、専門的な知識・技術を要しない軽度な日常生活支援等をワンコインで行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣で同種事業を行っている市町村なし						
事業期間	事業開始年度	平成25年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の65歳以上の市民等					うち	一般財源	22,274	20,189	24,635	27,856	30,427
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的支援や日常的支援により、住み慣れた地域の中で安心して生活してもらうため。					国費・県費	0	0	0	0	0	
						地方債	0	0	0	0	0	
					その他	0	0	0	0	0		
					受益者負担額	5,652	5,282	5,961	7,352	9,212		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H26実績	単位	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~															H26目標値
⑩ ワンコインサービス事業	・満65歳以上のひとり暮らし高齢者 ・満75歳以上のみの世帯	在宅の高齢者に対し、軽度な日常生活の援助を行うことにより、				住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整え、また、高齢者に対する経済的な負担の軽減を図る	延利用者数 177人	利用者数	62	177	人	実績による目標値	101	19	101	65	ワンコインサービス事業補助金 65千円	A	高齢者相互の支え合いを推進するため、事業内容をさらに使いやすいものにし、利用者数の向上を図る。	
⑪																				
⑫																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	